# カセサート大学

（タイ王国）

（Kasetsart University）

交流協定締結年月日：1988年8月25日　主管学部：農学部

バンコク市内のメインキャンパス

共同授業風景

インターンシップパフォーマンス

## 国際交流の特色（大学紹介）

タイで最初の農科大学として1943年に創立。首都バンコクのメインキャンパスをはじめ計4つのキャンパスがあり、30以上の研究施設を持つタイ有数の総合大学で，最も権威のある大学の一つ。卒業生は2003年に10万人を超え、農学、水産学、工学、社会科学及び経済学の分野でタイの中心的な役割を担っている。また、外国人研究者、国費外国人留学生及び短期留学生を数多く受入れている。カセサート大学の農学・農産学・水産学の各学部及び食品科学開発研究所と本学農学部との交流が盛んである。最近は両大学独自の短期留学制度による学生交流が盛んになっている。

## 交流実績（平成25年度～27年度）

| 年度 / 受入・派遣 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---|---|---|---|
| 学生の受入 | 3 | 9 | 7 |
| 学生の派遣 | 16 | 12 | 12 |
| 研究者・職員の受入 | 0 | 3 | 2 |
| 研究者・職員の派遣 | 5 | 6 | 6 |

食品科学開発研究所にてスナック製造実習風景

### 教員からの声

農学部の講義科目の1つ「国際インターンシップ」を使い、ここ8年間連続してカセサート大学食品科学開発研究所に学生を派遣し、タイの伝統食品の調理、スナック製造、熱帯フルーツのジュース製造等を学ばせている。グローバル化する香川大学農学部は、カセサート大学農産学部、水産学部の授業を受講でき、海外大学の授業科目の履修機会を提供している。うどん製造技術の紹介等を通じ、タイ学生らと英語によるコミュニケーションの機会も充実してきた。最後に日系食品企業を訪問し、企業の海外進出を肌で実感できる。カセサート大学の学生さんはとても真面目で勤勉である。現在、カセサート大学からの留学生も校内に多いので、見かけたら話しかけてみよう。異文化交流は農学部内ですでにはじまっている。

農学部教授　田村　啓敏

### 留学生からの声

私は高校生の時に初めて海外旅行をし、函館と京都を観光しました。寿司やラーメンなど日本食が美味しかったこと、道案内が親切だったことから日本が好きになりました。カセサート大学4年生のとき、香川大学のインターンシッププログラムが学内であり、ルーツ先生と田村先生から日本の食の安全プログラムを紹介され、日頃食の安全が一番大切だと思っていた私は、すぐにこのプログラムに入学したいと考えました。幸いにも希望する研究科に入学でき、HPLC分析や動物細胞培養を通じ、食品の機能について楽しく研究しています。研究室の先生や先輩など親切に指導してくださり、貴重な経験、技術の勉強ができています。卒業式の振袖袴姿、茶道などにも興味があり、益々日本文化を学び、将来は日系企業に就職をしたいと考えています。

Praneeratlert Patcharatip（14年農産学部卒）

カセサート大学
(Kasetsart University)
ホームページ　http://www.ku.ac.th

●学部学生　約51,000 人　●教職員　約9,700 人
●大学院生　約12,000 人